

# 安全報告書

平成 28 年度



横浜高速鉄道株式会社

## ごあいさつ

平素より横浜高速鉄道をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

横浜高速鉄道では、運行の基本である「安全の確保」は、すべてに優先される最も重要な責務であると考え、安全を最優先とする企業風土の定着に社員一丸となって取り組んでおります。

本報告書は、平成28年度の当社における輸送の安全の確保に関する取組みや、鉄道運転事故等の発生状況と再発防止対策などを報告するものです。平成28年度は、安全管理体制の強化を目的として、毎月の安全巡視や教育訓練の実施および安全管理体制に係る内部監査員の養成に加えて、災害に備えた防災訓練として列車一斉停止訓練や列車火災を想定した列車内からの避難・誘導訓練、テロ発生時の対応訓練を実施しました。こうした訓練等を通して、事故・災害に対し社員一人ひとりが迅速かつ的確な初期対応を行い、お客さまの安全確保が図れるよう、さらなる安全管理体制の構築に努めてまいります。

この安全報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、当社における安全の確保に向けた取組みを皆様に広くご理解いただくために作成いたしました。

是非ご一読いただき、ご意見ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

平成29年6月



横浜高速鉄道株式会社

代表取締役社長 **鈴木 伸哉**

# 目次

● 会社概要	1
● 安全に関する基本方針	2
● 安全管理体制	3
● 安全確保の取組み	5
● 障害・事故	12
● 安全対策	13
● 営業路線図	15

## 会社概要

- 名称

横浜高速鉄道株式会社

- 所在地

神奈川県横浜市中区元町一丁目11番地

- 設立

平成元年3月29日

- 事業内容

1. 鉄道事業

(みなとみらい21線：第一種鉄道事業者、こどもの国線：第三種鉄道事業者)

2. 鉄道施設内における日用雑貨・飲食物等の販売、飲食業、広告業および旅行業等のサービス事業

3. 不動産の売買、管理および賃貸

4. 前各号に付帯関連する一切の業務

## 経営理念

- 一 私たちは、公共交通機関としての使命を深く自覚し、運行の基本である安全を最優先とし、快適で利便性の高いサービスを提供します。
- 二 私たちは、鉄道事業を通して横浜都心部の活性化や沿線の集客を図るとともに、首都圏の広域的な交通ネットワークの一翼を担います。
- 三 私たちは、健全で安定した鉄道経営を目指します。

## 安全に関する基本方針

当社では輸送の安全を確保するため、「安全方針」を定め、全社員に周知・徹底を図っております。

### ●安全方針

1. 常に安全を最優先とし、人命を第一に行動します。
2. 法令・規程等を遵守し、厳正に職務を遂行します。
3. 思い込みや憶測に頼らず、迅速かつ正確に対処します。
4. 気づき合う職場環境をつくるため、コミュニケーションを大切にします。
5. 問題意識を高く持ち、安全マネジメント態勢の継続的改善に取り組みます。

### ●社員行動規範

1. 企業の社会的使命を認識し、各種法令、規範を遵守し、公正な事業活動に努めます。
2. お客様に安心して、気持ちよくご利用いただける鉄道を目指すため、まず、お客様の視点に立って考えます。
3. 経営情報などの情報を適時、適切に開示します。
4. 事業活動で取得した情報を大切に扱い、社内規定に基づき管理を徹底します。退職後も秘密を保持します。
5. ひとたび事故が起これば、お客様の人命に関わる事業であることを認識し、安全マネジメント体制を確立するとともに、危機意識を持って事に当たります。
6. 環境に配慮した事業活動を行い、環境への負荷を減らし、資源を有効に活用する努力をします。
7. 人権意識を高め、あらゆる差別を廃し、個人を尊重します。
8. 社会的秩序に反する勢力に対しては毅然とした態度で臨みます。
9. セクシュアルハラスメント等差別のない、個人を尊重する働きやすい環境を創ります。
10. 会社は自己実現の場である事を認識し、自ら考え、失敗を恐れず挑戦し、自分の持てる能力を十二分に発揮します。チームとしての力が最大となるよう、和を大切に、誠実に行動します。

## ●安全重点施策

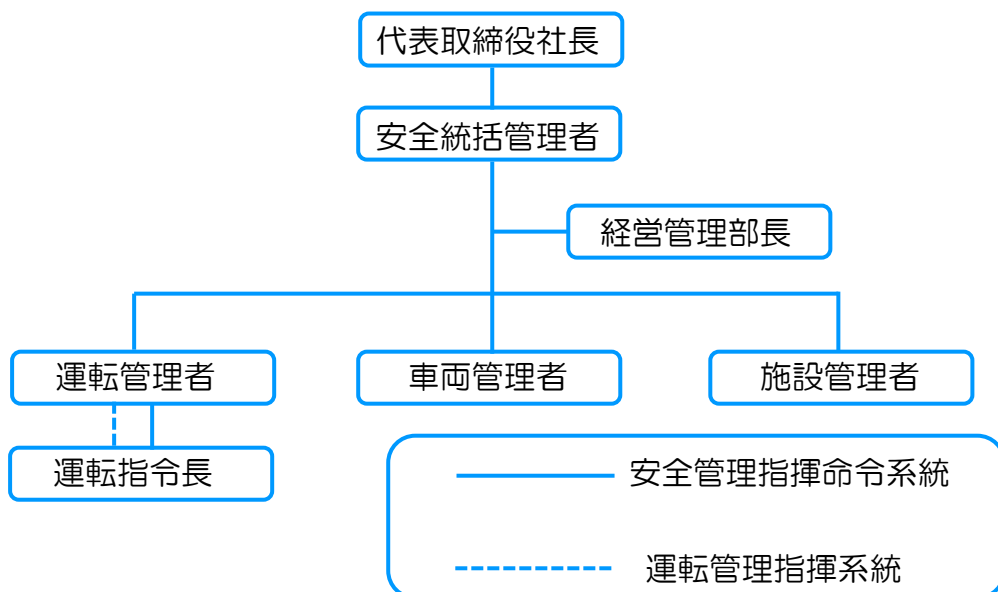
1. 運輸安全マネジメント態勢の継続的改善
  - ・安全教育と安全巡視の充実
  - ・他社の取組みを参考に、自社に生かす
2. 情報共有による連携の強化
  - ・定例会議の活用
  - ・社内コミュニケーションの強化
3. 異常時に即した教育訓練の実施と体制の強化
  - ・教育訓練による設備機器の習熟

## 安全管理体制

代表取締役社長を最高責任者として、安全統括管理者をはじめとする各管理者の責務を明確にして安全管理体制を構築し、運輸安全マネジメント態勢の継続と改善に取り組んでいます。

## ●安全管理体制

### 安全管理体制図



## ●各責任者の責務

代表取締役社長：輸送の安全の確保に関する全ての責任を負う。

安全統括管理者：輸送の安全の確保に関する業務を統括する。

経営管理部長：輸送の安全確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

運転管理者：運転に関する事項を統括する。

車両管理者：車両に関する事項を統括する。

施設管理者：鉄道施設に関する事項を統括する。

## ●運輸安全マネジメント態勢の継続と改善

安全管理体制のPDCA サイクル



### ◆安全推進会議

安全統括管理者を議長に、経営管理部門、運輸部門の部長、課長および係長がメンバーとなり毎月開催しています。事故・障害の情報共有と原因究明・対策の検討等、安全に関する事項について審議しています。

### ◆安全マネジメント内部監査

内部監査研修修了者と同等の能力を有する者の中より、安全統括管理者が指名した者で構成し、経営管理部門、運輸部門に対し監査を実施しています。

## ●業務監査

平成28年度、関東運輸局より、業務監査を受けました。

今回の業務監査において、関東運輸局よりいただいたアドバイスを基に、輸送の安全確保のため、安全管理体制のさらなる構築に努めてまいります。



## 安全確保の取組み

### ●警察・消防テロ対策合同訓練

平成28年4月14日（木）にホーム上テロ行為を想定したお客様の安全確保や関係機関との連絡通報、連携訓練を実施しました。



犯人役による障害



駅係員による避難誘導



犯人確保訓練



被害者救護訓練



搬送訓練



講評



## ● 転てつ器手回し訓練

平成28年4月26日（火）に運転関係従事員教育訓練要綱に基づき、保安装置故障を想定した転てつ器（ポイント）手回し訓練等の運転訓練を運転指令員および駅係員合同で実施しました。



転てつ器手回し



キーボルトの装着

## ● 駅係員異常時取扱い訓練

平成28年5月24日（火）～5月26日（木）に事故・災害等が発生した際に、係員が落ち着いて行動し確実な初期対応がとれるよう、異常時を想定した訓練を実施しました。平成28年度は列車を緊急に停止させる列車防護訓練、列車ドアの不具合時の対応訓練等を実施しました。



信号煙管による列車停止訓練



列車ドア不具合対応

## ●安全統括管理者講話

平成28年7月4日（月）～7月6日（水）に現業と本社員を含めた全社員に安全統括管理者が講師となり、安全管理規定および安全管理体制等の「安全に関する教育」を行いました。

当社の安全管理体制は、全社員が理解し行動すべきものであるため、今後においても継続して実施してまいります。



安全統括管理者講話

## ●列車一斉停止訓練

平成28年9月1日（木）「防災の日」の13時00分に、災害に備えた防災訓練として、列車の一斉停止訓練を実施しました。

運転指令所より走行中の全列車に対し緊急停止指示を列車無線により配信し、異常なく緊急停止致しました。

## ●元町・中華街駅、アメリカ山公園合同防火訓練

平成28年9月26日（月）、平成29年3月10日（金）に本社内からの出火を想定した防火訓練を、横浜市中消防署、アメリカ山公園テナント、駅および本社合同で実施しました。



消火器取扱い



模擬火災体験

## ●異常時総合訓練

平成28年11月11日（金）の終電後にみなとみらい駅～馬車道駅間において、列車火災を想定した異常時総合訓練を運転指令員および駅係員、本社員が合同で実施しました。

ずい道内を走行中の列車内において火災が発生したという想定で、車内の初期消火活動並びに、列車内のお客様を運転台の避難梯子使用により降車させ、最寄り駅まで避難誘導する訓練を実施しました。



消火訓練



非常梯子による避難



避難誘導



経営トップによる講評



## ●経営陣による巡視

平成28年11月16日（水）～18日（金）に全社員を対象に社長安全講話を実施しました。安全とは何か、過去事故事例から学ぶ課題、安全確保に対する心構えなど安全確保の重要性を周知して実践するように促しました。

また、安全総点検期間中に、経営トップを含む幹部のリーダーシップの下で自主点検を実施し、駅や運転指令所等の現業部門への巡視を通じ、現業監督者との意見交換を行うことで、安全最優先の方針を確認しています。



社長安全講話



社長巡視

## ●心肺蘇生・AED取扱い訓練

平成28年11月16日（水）～11月18日（金）に急病人等への救急救命活動を迅速・正確に対応できるよう、日本赤十字社より講師を招き、心肺蘇生術、AED取扱いの訓練を駅監督者、係員で実施しました。



心肺蘇生



AED取扱い

### ●過眠事故想定訓練

平成28年12月17日（土）に駅での過眠事故発生を想定し、迅速・正確に対応できるよう、駅監督者、係員で緊急対応訓練を実施しました。

### ●空気呼吸器取扱い訓練

平成29年1月25日（水）～27日（金）に火災発生時等の避難誘導や救命活動を迅速・正確に対応できるよう、外部講師を招き、空気呼吸器取扱いの訓練を駅監督者、係員で実施しました。

### ●横浜市民防災センター見学会

平成28年12月14日（水）～16日（金）に駅、平成29年2月7日（火）～2月8日（水）に本社で、横浜市民防災センターの見学を実施しました。事故防止への意識の向上を図ることが出来るため、今後も引き続き同様の見学を実施いたします。

### ●みなとみらい21地区合同防災訓練

平成29年3月6日（月）に災害発生時の緊急対応を迅速・正確に対応できるよう、みなとみらい21地区合同で防災訓練を実施しました。地震発生時を想定し、負傷者の搬送や応急手当訓練を実施しました。



火災想定訓練



搬送訓練

## ●中区帰宅困難者対策訓練

平成29年3月13日（月）に大規模災害を想定した帰宅困難者対策訓練を中区役所、中消防署、加賀町警察署と合同で実施しました。地震発生時における避難誘導や負傷者搬送、応急手当の訓練後、一時滞在施設への歩行訓練を実施しました。



訓練説明



地震発生想定訓練



負傷者救護



避難訓練



## 障害・事故

### ●鉄道運転事故（列車脱線事故、鉄道人身傷害事故等）

鉄道運転事故は発生しませんでした。

### ●輸送障害（鉄道に起因する30分以上の遅延や運休等）

#### 1. 非常停止ボタン装置故障に伴う輸送障害

《発生日時》平成28年10月14日（金） 21時20分

《発生場所》みなとみらい線 新高島駅

《概要》 新高島駅の非常停止ボタン装置に不具合が生じ、停止信号となったため、列車が停止しました。列車がホームに一部かかっていたため、お客様に降車いただくとともに、原因の究明、復旧対応をおこない、約120分後に運転を再開しました。

《対応》 不具合の原因となった装置の電源設備とブレーカーを交換しました。

### ●インシデント（事故の兆候）

インシデントは発生しませんでした。

## 安全対策

### ●横浜駅非常停止ボタン・インターホンの設置

みなとみらい線では全駅に、列車を緊急停止させる非常停止ボタンを設置しております。  
また、ホームで非常の際に緊急で駅係員を呼び出せるように、横浜駅に係員呼び出しインターホンを設置しております。



横浜駅南口改札駅務室内非常停止ボタン



横浜駅非常停止ボタン・インターホン

### ●可動式ホーム柵の整備

お客様の線路転落や、列車接触事故防止のため、平成27年3月より横浜駅で可動式ホーム柵の供用開始をしておりますが、駅ホームにおける更なる安全性向上を図るため、平成32年度までに、みなとみらい線全駅に、可動式ホーム柵を整備致します。



横浜駅ホームドア

## ●AEDの設置

みなとみらい線では、全駅にAED（自動体外式除細動器）を設置しております。

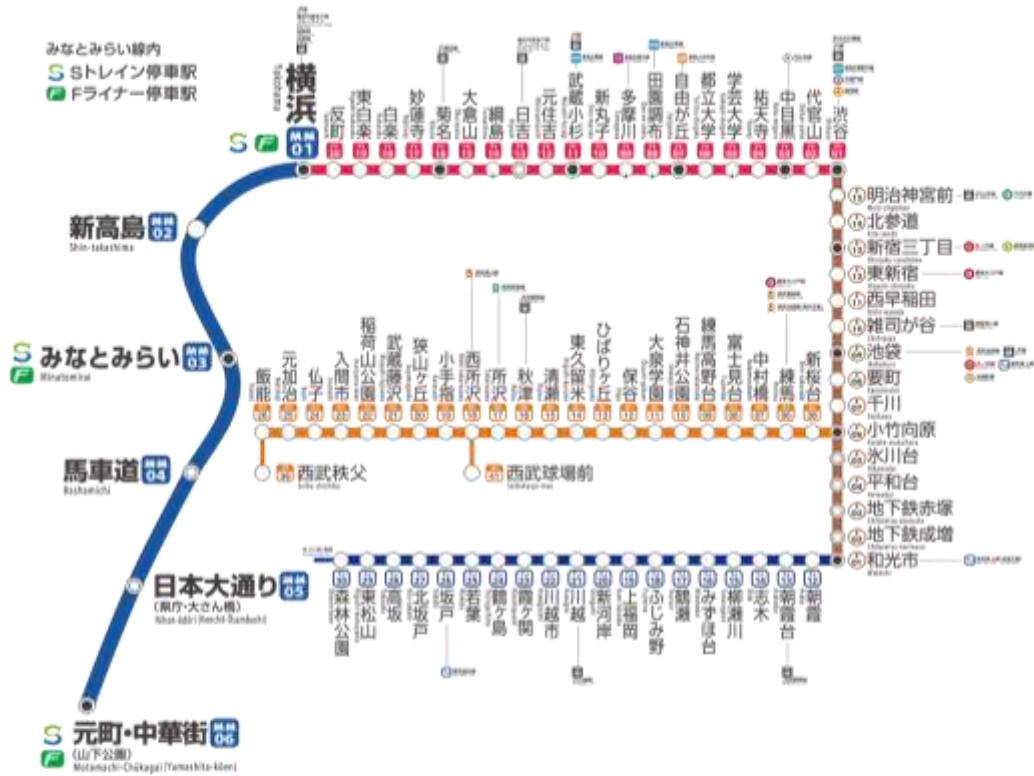


各駅のAED

## ●ATC（自動列車制御装置）

みなとみらい線では、信号保安装置としてATC（自動列車制御装置）を採用しています。これは、列車が連続的に速度情報を受信し、走行速度が定められた速度を超えた場合には自動的にブレーキが作動するシステムです。

# 営業路線図



**フライナー停車駅**  
 みなとみらい線・東横線内 ..... 特急停車駅  
 副都心線内 ..... 急行停車駅  
 西武池袋線内 ..... 快速急行停車駅  
 東武上野線内 ..... 急行停車駅

**S ストレイン停車駅**  
 みなとみらい線・東横線・副都心線・西武池袋線・西武秋葉原線  
 元町・中華街、みなとみらい、横浜、自由が丘、渋谷、  
 新宿三丁目、池袋、石神井公園、所沢、入間市、蕨、西武秋葉原

<b>みなとみらい線</b> Minatomirai Line 特急・通勤特急 急行停車駅 通勤特急・急行停車駅	<b>東横線</b> Tokaido Main Line 特急・通勤特急 急行停車駅 通勤特急・急行停車駅 急行停車駅	<b>副都心線</b> Fuchu Line 急行・通勤急行停車駅 通勤急行停車駅 急行停車駅	<b>西武有楽町線</b> Seibu Yamanote Line 西武池袋線 西武池袋線 西武秋葉原線	<b>東武東上線</b> Tobu Tojo Line
--	--	---	--	--------------------------------

本報告書に関するお客様のご意見をお寄せください。

「平成28年度 安全報告書」の内容や当社の安全への取組みについてのご意見・ご質問は「横浜高速鉄道お客様電話」または「横浜高速鉄道ホームページ」までお寄せください。

横浜高速鉄道お客様電話

TEL：045-664-0629

（受付時間：平日 AM8:45～PM5:45、土、日、祝日、年末年始（12/29～1/3）を除く）

横浜高速鉄道ホームページ

<http://www.mm21railway.co.jp>

※画面最下部「お問い合わせ」よりご意見をお寄せください。